

自社の事業と社員を守るために企業は何をすべきか？！

半日

新型インフルエンザを含む感染症への実務対応

—— 弊社冊子「新型インフルエンザ実務対応Q&A」を社内勉強会用にお一人5冊まで進呈！ ——

日時：2009年1月8日(木) 9:30～13:30 / 会場：当社セミナー室 (トレードピア淀屋橋19F) (裏面ご参照)

講師：HP「鳥及び新型インフルエンザ海外直近情報集」主宰 医学博士 との おか たつ ひと 外岡 立人 氏

講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 国際事業本部 シニアコンサルタント ふじ い めぐみ 藤井 恵

●セミナーのねらい 〈対象〉経営幹部、総務・人事・海外ご担当の皆さま

現在、インドネシアやベトナム、中国等で発生している高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)は、これまでの鳥インフルエンザウィルスに比べて、毒性が非常に強いウィルスとして有名です。新型インフルエンザが与える人的被害は甚大であり、パンデミック(大発生)時には企業の4割以上の職員が長期欠勤する可能性があると言われています。

このセミナーでは、前半と後半の二部体制にて、企業が今行うべき対策を具体的に説明します。

第一部では当該分野の第一人者として国内外で有名な外岡立人先生に、新型インフルエンザに関する基礎知識はもちろん、最新の新型インフルエンザ情報等、他のセミナーでは得ることができない貴重な最新情報等をご説明いただきます。

第二部では、2008年8月発行の「新型インフルエンザ実務対応Q&A」を執筆した藤井講師が、新型インフルエンザ発生に備えたBCP(事業継続計画)作成の手順等をわかりやすく説明いたします。また、企業内での研修や勉強会にも使える「新型インフルエンザの基礎知識チェックリスト」もご提供します。**インドネシア、ベトナム、タイ、中国に赴任者、出張者を送り出す企業はもちろん、新型インフルエンザ対策を行っていない、全ての企業の経営者、管理部門ご担当者の方々のお役に立つ内容です。**

●カリキュラム

● 録音はご遠慮願います。

第一部

1. 新型インフルエンザに関する基礎知識

- (1) 毎年冬に流行するインフルエンザと新型インフルエンザの違い
- (2) 鳥インフルエンザと、新型インフルエンザの対応策の相違点
- (3) 鳥インフルエンザの海外での発生状況
- (4) 抗インフルエンザ薬を企業で備蓄する場合の問題点
- (5) 過去に起きた新型インフルエンザの発生事例
- (6) H5N1型新型インフルエンザ発生のリスク
- (7) 新型インフルエンザ対策の他の先進国と日本との取り組み方の違い
- (8) 通常のインフルエンザと新型インフルエンザ対策で共通する点、しない点
- (9) パンデミック対策のベストチョイス
- (10) 外岡先生の新型インフルエンザ情報収集HPの読み方解説
- (11) 新型インフルエンザ以外にパンデミックが考えられる感染症

第二部

1. 企業としての基本的な考え方

- (1) 経営者層に新型インフルエンザに対する正しい危機感を持ってもらうには
- (2) 他社の新型インフルエンザ対策状況

- (3) 新型インフルエンザ対策プロジェクトチームでの役割分担
(情報収集チーム、海外赴任者出張者チーム、
社員教育チーム、備蓄品購入チーム、BCP作成チーム)

2. 海外赴任者・出張者に対する対策

- (1) 海外赴任者に対して、本社としてとるべき対策
- (2) 赴任者および帯同家族を帰国させるタイミング
- (3) 残留せざるを得ない赴任者への対応策
- (4) 赴任者が帰国する際の留意点および帰国後の対応
- (5) 新型インフルエンザ発生後の社員の海外出張への考え方
- (6) 海外拠点の新型インフルエンザ対策について

3. 社員への教育、備蓄品について

- (1) 企業として社員にどのような教育を行うべきか
- (2) 新型インフルエンザに対する勉強会の考え方
- (3) 新型インフルエンザ発生に備えた家庭での備蓄品リスト
- (4) 会社として備蓄しておくべき物品リスト

4. 新型インフルエンザに関するBCP

- (1) 通常のBCPと新型インフルエンザに備えたBCPの違い
- (2) 新型インフルエンザ対応のBCP作成のポイント
- (3) BCPや感染後の社員行動計画はいつまでに作成すればよいか
- (4) 作成したBCPをどのように有効活用するか



